

令和元年度 第5回「まちづくり会議」概要 一ノ宮地区

日 時：令和元年6月16日（日） 14：00～15：20

場 所：一ノ宮公民館

参加団体等：一寿会、一ノ宮連合壮年会、子ども会育成会、白山町女性会、八幡町婦人会、中島町婦人会、三宮町婦人会、民生委員・児童委員 一ノ宮地区、一ノ宮地区防犯協会、獅子吼あんずの里、獅子吼花の会、南消防団一ノ宮分団

発言【1】

- ① 旧加賀一の宮駅の整備と管理・運営について
- ② 古宮公園のリニューアルについて
- ③ 保育所跡地の大型遊具の活用と園庭の解放について

【市】

①旧加賀一の宮駅は基本的には休憩所にしてはどうかと思います。県にお願いをして、キャニオンロードを上げてもらって古宮公園との一体感の中でやれるようにすることと駐車場を整備した。駐車場8台、駐輪スタンド9台分を整備し、手取キャニオンロードのサイクリング利用者の無料休憩施設として活用するとともに、旧駅で使用されていた鉄道関係の備品や写真などを展示し、市の観光・文化・ジオパークなどの情報提供と併せて集客に努め古宮公園との一体感の中で運用することとしたいと考えています。

②全面改修ではなく、修景整備という観点で施工します。具体的には、園路の拡幅整備、使われていない遊具の撤去や、枯れた樹木や雑木を伐採し、日の当たる明るい公園とします。また、七ヶ用水管理センターへの研修受け入れとして、園路にマイクロバスの乗り入れを可能にいたします。

③表参道の活用というのは一番大事です。表参道から上がってこそ初めて比咩神社の良さがしっかりと認識されると思います。白山町の皆様と話して、できれば保育所までの間を駐車場にして、表参道を歩いてもらうということをやったらどうかということをして市長という立場で、宮司さんに話をしています。一ノ宮保育所の跡地の利用については、現在のところ具体的な利用計画はありません。大型遊具の活用や園庭の開放につきましては、表参道から旧一ノ宮保育所までの駐車場について白山比咩神社と一ノ宮の意向が合致した時点で、地域の意向等を踏まえ検討することとしています。

発言【2】

空き家対策について

【市】

空き家につきましては、毎年町内会長にご協力いただき、町内からの報告により状況把握に努めています。

市では、空き家所有者に空き家バンク制度のパンフを送付することで、空き家の利活用の周知を図るとともに、隣家と合わせた利活用ができるよう、地域と一緒に空き家対策に取り組んでいます。

発言【3】

①県道の通学路の白線の整備について

②市道3号指定道路の舗装について

③キャニオンロードの除草について

【市】

①県道の通学路の白線や横断歩道の整備は、安全上大事であり、県に要望してまいります。市道につきましてはリフレッシュ事業として特別予算で整備してまいります。

②定期の土木事業要望書で町内会として要望していただきますようお願いいたします。市では冬の除雪後の2月から3月にかけて行う生活道路リフレッシュ事業として、三か年計画で白線等道路の整備を行ってまいります。

③通行に支障が無いように適切な時期に施工するよう、県に要望してまいります。地元の皆様のご協力もお願いしたいと思います。私有地につきましては、樹木の所有者にお願いしてまいります。

また、安全のため古宮公園から旧加賀一の宮駅にわたるキャニオンロードに、グリーンの横断帯を設置しました。

発言【4】

古宮公園の樹木の移植について

【市】

公園の形状とスペースの関係と、移植すると樹木（古木）が枯れることから、残念ですが伐採という方法になりました。

発言【5】

①ホースの劣化による補充について

②機材車を入れてある格納庫の水道の開栓について

【市】

①毎年4分団分を購入し、各分団公平に割り当てています。

訓練大会に向けて頑張っておられるわけですし、ホースなどは当然練習すれば傷むということがあります。これはまた消防の連合会と話をしながら、ほかのところともまた連携ということになりますので、南・北含めて相談させていただきたいと思います。

②本年度開栓しました。

発言【6】

①避難所までの距離を示した看板の設置について(防災と健康づくりの観点から)

【市】

市内の各町に1箇所ずつ設置するとしても、400箇所近くとなり困難であると考えています。自助の観点から、事前に避難所までの距離や所要時間の確認にご協力をお願いいたします。

また、健康づくりにつきましては、H30年度末に作成しましたウォーキングマップの普及を最優先に考えています。今後は、ウォーキングマップを持っていなくても、スマートフォン等で簡単にマップにアクセスできるよう、ウォーキングコースの周辺施設にQRコードを設置したいと考えています。

発言【7】

正しいラジオ体操の指導について

【市】

令和元年度は、7月20日(土)に美川地区、8月10日(土)に松任地区、鶴来地区、白山ろく地区において、白山市ラジオ体操会を開催いたしました。

個別にラジオ体操の指導を受けたい場合は、白山市スポーツ推進委員が指導を行いますので、多くの方に正しいラジオ体操を学んでいただきたいと思います。

発言【8】

①運転免許証返納に対する市の支援について

②危険運転(踏み間違え)を防ぐ装置の補助について

【市】

①有効期限内のすべての運転免許証を自主返納した満65歳以上の市民の方に、

公共交通機関を使った外出の支援を次のとおり行っています。

- 市コミュニティバス「めぐーる」回数乗車券
- 北陸鉄道 I C カード乗車券「アイカ」
- 県タクシー協会タクシー共通乗車券
- J R 西日本 I C カード乗車券「イコカ」

＜いずれか1つを選択（2万円相当）＞

また、昨年より75歳以上の方はめぐーるの無料化を実施しています。

②国では、自動車メーカーに対し、自動運転等の開発や実用化の取り組みをさらに進めるよう要請する考えを示しており、今後、高齢者免許制度の創設や自動ブレーキなどの安全機能が付いた自動車の普及策等について検討することとしています。県でも後付けの安全装置の補助を検討中とのことで、市としても後付け安全装置の性能や効果等を調査・研究するとともに、国や県の動きを参考に普及策等を検討して参りたいと考えています。

発言【9】

白山市がSDGs未来都市に選定されSDGs身近になったが、実際は何をどうすればいいのか。また目標値等を教えてほしい

【市】

経済界ではSDGsが進んでいますが、一般市民にはまだあまり浸透していません。まずSDGsという言葉を知っていただくことも大切なことと考えています。

市では、6月にぶんぶんボウルさんを白山市SDGs推進大使に任命いたしました。SDGsについて子どもたちに関心を持ってもらうため、市内の全小学校を順次訪れ、お笑いでわかりやすく紹介し普及啓発に努めています。

SDGsの理念は、「持続可能な社会を作っていく」ことです。そのために、国連では、17の目標を設定し、その下に、達成度合いを把握するための232の指標がありますが、グローバルな視点からの指標であり、日常の取り組みとは結びつきにくいものになっています。

自分たちで今していることが、17の目標のどれに該当するか考えるようにしていただければよいですし、17の目標すべてを行う必要はありません。

例えば、県内では、白山市・野々市市・川北町のみごみの無料収集をおこなっていますが、この無料収集を続けていくために、各家庭でのごみの排出量を減らすことが、結果として、海洋プラスチック問題などの環境負荷の低減につながっていくものと考えています。

問題解決のための目標設定に数値化する方法もありますが、金沢工業大学が作成したSDGs的思考力が身に付けられるカードゲームの活用など、楽しみながら取り組んでいくということも大切なことと考えています。